

氷川町ふれあいネットワーク



社協だより

令和5年1月1日

第104号

— 発行 —
社会福祉法人
氷川町社会福祉協議会

迎春



本会 元役員
中園庸子さん

桜ヶ丘サロン
松村佳子さん、村上ヤス子さん

立神サロン
平野洋子さん、瀧川真吾さん

令和4年12月19日（月）、令和4年度福祉功労者表彰式
永年に亘り社会福祉事業の向上発展に尽力された方々へ感謝状と記念品の贈呈が行われました。



この社協だよりは、共同募金の配分を受けて発行しました。

つながりをつくる福祉活動



氷川町社会福祉協議会

会長 藤本 一臣

あけまして

おめでとろございます

皆さまには、輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

日頃より社会福祉協議会の運営につきまして、ご理解とご協力を賜り、円滑な事業の推進が図られておりますことに對し厚くお礼を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響により、精神的にも経済的にも辛い不自由な生活を強いられている方々には心よりお見舞い申し上げます。

昨年を振り返りますと、地域福祉事業の柱でもあります、子供から高齢者、障がいのある人の交流事業、各地区で組んでいます高齢者いきいきサロン事業におきましては自粛や中止する対応をさせていただいたところであります。

このような状況のなか、学校の夏休み期間中に行っておりました児童生徒のワークキャンプにかえて児童の認知症フレンドリーキッズ授業と生徒の認知症VR体験会を感染予防に努め取組むことができました。助け合いながら地域の中で共に生きることを学ぶことができましたことはコロナ禍での事業の転換を迎えて成果を得ることができました。

さて、氷川町は昨年4月に成年後見制度に関する中核機関を設置いたしました。氷川町社会福祉協議会といたしましたも永年地域福祉権利擁護事業で培ってきた経験を活かし単身世帯の高齢者や障がいのある人誰もが安心して地域で暮していける地域づくりとして法人成年

後見事業を立ち上げさせていただきました。このことは、複雑多様化する家庭環境の課題解決にもつながっていくものと考えているところであります。

地域福祉を取り巻く社会情勢が変化していくなか、世代や分野を超えてつながる地域共生社会、多文化共生者社会の地域づくりを推進してまいります。

これからも氷川町に必要な独自の地域福祉活動に積極的に取り組んでまいりますので皆様方に更なる一層のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

この一年が皆様方にとりまして、平穏で幸多き年になりますことをご祈念申し上げます。



令和4年度 友愛訪問

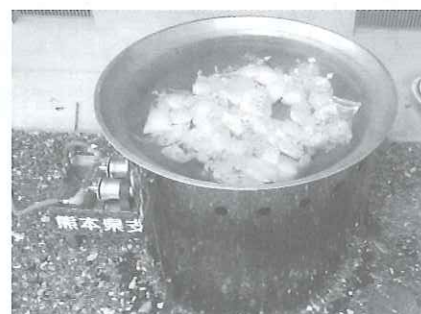
令和4年12月12日(月)、氷川町民生委員児童委員協議会の協力のもと、氷川町内にお住まいの95歳以上の高齢者の皆さま及び寝たきり者(児)の方のお見舞いを致しました。感染症予防の為玄関先での対応となりましたが、皆さまの朗らかな姿を拝見できました。これからも末永く元気にお暮しいただきたいと願っております。



災害時高齢者生活支援等講習の実施について(自助・共助・公助)

令和4年10月9日(日)鹿島地区、11月6日(日)中網道地区において、日本赤十字社熊本県支部のご協力のもと災害時高齢者生活支援講習並びに炊き出し訓練を実施しました。被災した際に開設される避難所においての知識や技術としてタオルケットを使ったガウン作りやホットタオル(おしぼり)作りを学びました。その他、非常包装食袋(ハイゼックス)を使った大鍋での炊飯では氷川町婦人会役員の皆様にご協力いただき、参加者全員で体験しました。

早速、学んだ訓練を今後は自分達で定期的の実施していきたいという声上がり、参加者の方々の防災意識向上が出来た有意義な講習会となりました。



10月9日 鹿島区



11月6日 中網道区

認知症の人の視覚、VRで体験 足元の感覚「驚いた」

認知症VR体験会

10月28日(金)、竜北中学校(一年生)・氷川中学校(二年生)の生徒を対象に認知症のことを正しく学ぶための「認知症フレンドリー講座(認知症VR体験会)」を行いました。講師は朝日新聞社の坂田一裕さんが務め、生徒にとって認知症は遠い存在でしたが、今回の体験会を通して、認知症ご本人の声を聞いたり、認知症の人の視覚のVR(仮想現実)体験など「見て・聞いて・体験」することによって、認知症を理解するとともに多くの事を学べる機会になった様子でした。

参加した生徒からは「物忘れ以外にも色々な症状があることがわかった」「足元がおぼつかない感覚はこれまでイメージできなかった。驚いた」などの感想が聞かれました。



認知症ってなに？ みんなで認知症を学んだよ！

認知症フレンドリーキッズ授業

12月15日(木)、竜北東小学校で、6年生の児童を対象に認知症のことを正しく学ぶための「認知症フレンドリーキッズ授業」を行いました。県下では初めての開催で、授業は元・朝日新聞厚生文化事業団大阪事務所長の山本雅彦さんが講師を務め、「誰もがなりえる病気」である認知症がどんな病気なのかを、クイズを交えて分かりやすく説明され、また認知症の人が見える世界を、VR(バーチャル・リアリティ)動画で体験することによって、認知症の人の気持ちや思いを学んだ様子でした。



善意のご紹介

次の方々から社会福祉事業に役立てて下さいと、ご寄付を頂きました。故人のご冥福をお祈りし厚くお礼申し上げます。ご寄付頂いた浄財は、本町の福祉事業に活用させていただきます。(敬称略・受付順)

氷川町社会福祉協議会／香典返し(令和4年10月21日～令和4年12月19日)

地区名	寄 付 者	故 人	地区名	寄 付 者	故 人
下 宮	橋 本 淳 一	橋 本 輝 久	原 田	森 脇 雄 喜	森 脇 春 代
東 網 道	平 野 秀 光	平 野 ト シ ヨ	南 鹿 野	森 野 久 男	森 野 ム ツ エ
東 網 道	坂 本 晋 一	坂 本 喬	熊 本 市	白 石 せ い 子	橋 口 サ ダ メ
今	田 村 一 裕	田 村 鈴 子	北 野 津	中 原 巳 沙 希	中 原 貞 子
高 塚	藪 下 マ サ 子	藪 下 敏 野	鹿 島	境 香 穂 子	境 睦 子
鹿 島	森 一 成	森 水 子	中 大 野	園 田 覺	園 田 ヨ シ 子
栢	島 田 栄 一	島 田 ツ カ エ	河 原	軸 屋 一 郎	軸 屋 雅 子
北 野 津	田 島 ツ ヤ 子	田 島 誠 一	高 塚	白 石 カ ツ コ	白 石 ヨ シ
高 塚	白 石 カ ツ コ	白 石 雅 義			

氷川町社会福祉協議会／一般寄付(令和4年10月21日～令和4年12月19日)

寄 付 者	氷川中卒14年会
-------	----------

住友生命労働組合熊本支部様より車椅子を寄贈していただきました

12月1日、住友生命労働組合熊本支部の皆様方より、車椅子1台を寄贈いただきました。寄贈いただきました車椅子は、地域の必要とされる方への貸出や、児童・生徒を対象に行っている福祉出前講座等で使用させていただきます。



2022チャリティコンサートの義援金をお預かりいたしました。

令和4年11月27日(日曜日)に氷川町竜北公園野外ステージにおきまして、音楽フェス実行委員会主催による第6回オータム・フェスin氷川町が開催されました。今年度も、主催者のご厚意によりまして国際救援や国内外の災害救護活動資金として日本赤十字社募金箱を設置させていただきました。また、氷川町共同募金委員会でもくまモンバッジ等の販売を行い、たくさんの皆様から募金を頂くことができました。募金につきましては、氷川町社会福祉協議会を通して、日本赤十字社熊本県支部、熊本県共同募金会へ送金いたしました。ご協力頂きました出演者、出演団体、関係各位の皆様方、募金して頂きましたすべての方に感謝申し上げます。

日本赤十字社募金額 32,362円
共同募金会募金額 21,890円



令和4年度

ご協力ありがとうございました

赤い羽根共同募金報告 1,778,552円

今年度も10月1日から赤い羽根共同募金にご協力いただきありがとうございました。皆様から寄せられました募金は熊本県共同募金会へ集められ、その一部が福祉施設などに配分されるとともに被災地の支援金や災害等準備金として積み立てられています。また、送金額の約66%が「自分の町を良くするしくみ」として氷川町社会福祉協議会で行う地域福祉活動の事業費として還元されます。今後とも共同募金運動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

氷川町社協が配分金で行う主な事業

- ・ひとり親家庭親子交流会 ・ひとり暮らし高齢者交流会 ・高齢者友愛訪問
- ・寝たきり者(児)訪問散髪 ・寝たきり者(児)見舞い ・ワークキャンプ
- ・福祉大会 ・社協だより発行

種 別	件 数	実 績 額 (円)
個 別 募 金	3,194	1,597,000
街 頭 募 金	1	13,770
職 域 募 金	9	140,735
その他の募金 (募金箱設置)	6	27,047
合 計	3,210	1,778,552

(令和4年12月12日現在の募金内訳は表のとおりです。)

○募金箱設置にご協力いただいた事業所

道の駅竜北、ありさスーパー、かあちゃん市場、
であい市場、JAやつしろ竜北町支所、
オータム・フェス会場

○戸別募金

氷川町内全39地区のみなさまにご協力
いただきました。

○街頭募金

ダーナ保育園の園児の皆さんに道の駅
竜北にて街頭募金を実施していただき
ました。(令和4年10月3日)

○職域募金にご協力いただいた事業所

八祥苑、早尾園、氷川学園
やすらぎ荘、のぞみ、氷川町役場
土地改良区、氷川町職員厚生互助会
常葉保育所、氷川町社協
氷川町民生委員児童委員協議会

令和4年度氷川町社会協議会表彰式

12月19日(月)、永年福祉の向上に貢献された方々への表彰式がありました。

民生委員・児童委員として18年、社会福祉協議会理事として9年間社会福祉事業の向上発展に功績
がありました中園庸子さんとふれあいいきいきサロン10年継続し120回に達したサロン会とし
て、桜ヶ丘サロン(代表 松村佳子さん)並びに立神サロン(代表 瀧川真吾さん)に感謝状の授与があ
りました。



ホームページアドレス www.shakyo.or.jp/hp/1669/

氷川町社会福祉協議会

検索